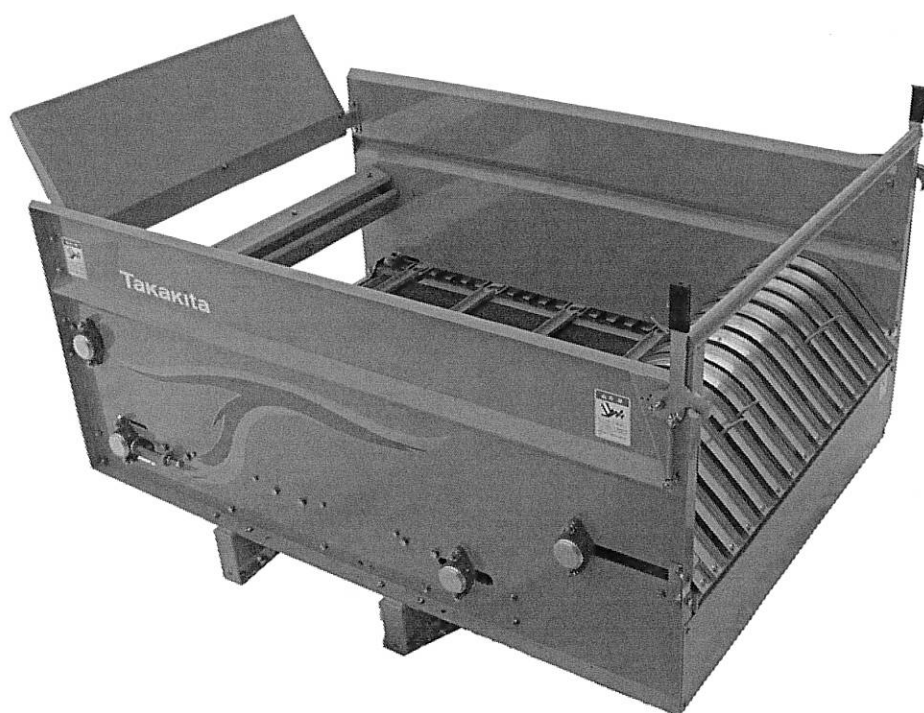


取扱説明書及び部品表

Takakita

ベールフィード

BF1600



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**ペールフィーダ**の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも**必ず製品に近接して保存してください。**
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いています。
- なお、本製品については不断の研究成果を新しい技術として直ちに製品に取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

- | | |
|------|--|
| ⚠ 危険 | その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。 |
| ⚠ 警告 | その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。 |
| ⚠ 注意 | その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。 |

目 次

 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	9
各部の名称とはたらき	10
トラクタへの装着	12
1. 3点リンケージへの装着のしかた	12
2. 油圧ホースの接続	13
運転に必要な装置の取扱い	14
1. フロワコンベア・アジテータ・巻取り装置	14
2. 巻取り装置	14
3. 巻取り装置クラッチレバー	14
4. 前後ステー	14
作 業 方 法	15
1. 作業手順と要点	15
2. 移動するときは	16
3. ロールベールの積込み	16
4. 梱包材料のはがす準備	16
5. 排出	17
6. 排出作業の方法	17
7. ロールベールについて	17
8. ロールベールの保管方法	17
9. 傾斜地での走行や作業	17
作業前の点検について	18
1. 点検一覧表	18
簡単な手入れと処置	19
1. フロワコンベアチェーンの張り調整	19
2. ローラチェーンの張り調整	19
3. Vベルトの張り調整	20
4. 日常の管理について	20
5. 長期格納時の手入れ	20
6. 各部への給油	21
不 調 診 断	22
付 表	23
1. 主要諸元	23
2. 主な消耗部品	23

⚠ 安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある⚠ 表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解した上で使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。

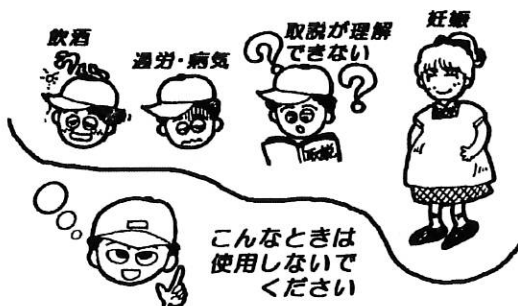
機械を他人に貸すとき、または他人に運転をさせるときは、運転の仕方を教え、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

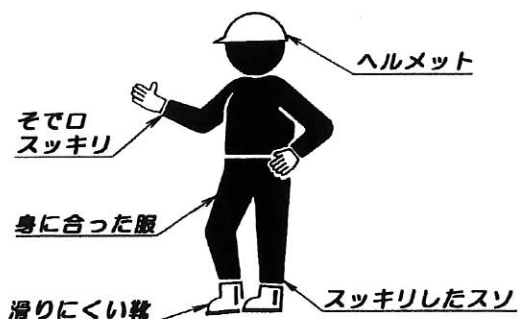
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。
- 16歳未満の人



(2) 使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



(3) 適応トラクタ以外への装着厳禁

下記の装着条件に合致するトラクタ以外には装着しないでください。

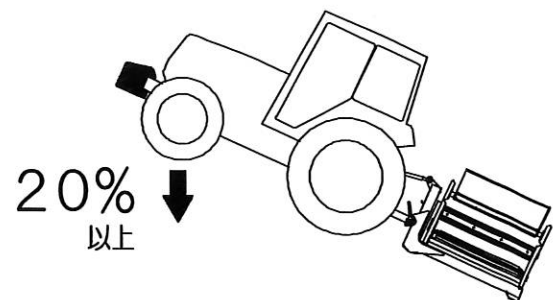
● 適応トラクタ

型 式	適応トラクタ kw(PS)
B F 1 6 0 0	58.8～110.3 (80～150)

- 3点リンケージ規格：カテゴリⅡ
- 油圧取出し：複動1系統

(4) 装着時の前後バランス確認

3点リンケージに装着して持ち上げたときに、総質量の20%以上の荷重が前輪に作用していることが必要です。もし、不足するときはトラクタ指定のフロントウエイトを取付けて、20%以上を確保するか、できれば装着しないでください。



(5) バランスウエイトの取付け

トラクタのバランスウエイトは指定された部分に指定されたウエイト以外は取付けしないでください。

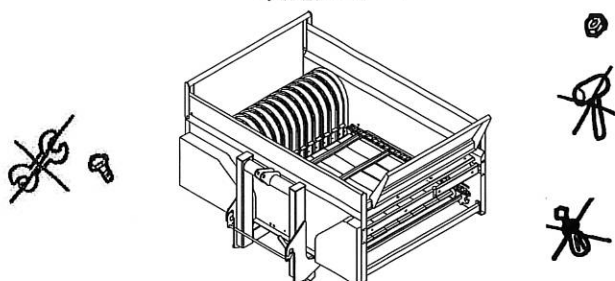
！安全に作業するために

(6) 機械の改造厳禁

純正部品や指定以外の部品を取付けないでください。

また、改造しないでください。

改造ダメ！



(7) 使用目的以外への使用禁止

カッティングされたロールペールを解体することを目的として作られた機械です。

他の目的には使用しないでください。

(8) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



2. 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。

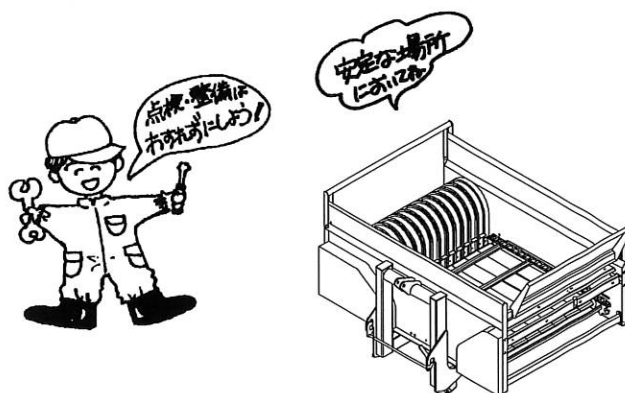


(2) 作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

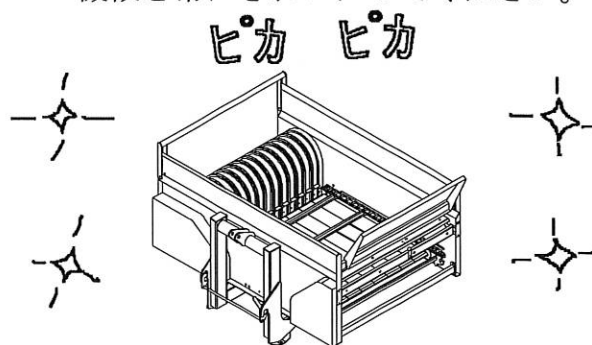
(3) 点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除するときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所で、トラクタのエンジンを停止させ、駐車ブレーキまたは車止めをしてから行ってください。



(4) 機械を常にきれいに

火災予防と性能維持のため、回転部への草などの巻付きやたまりを取り除き、機械を常にきれいにしてください。



⚠ 安全に作業するために

(5) 排気ガスには十分注意

屋内などでエンジンを始動するときはエンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります。

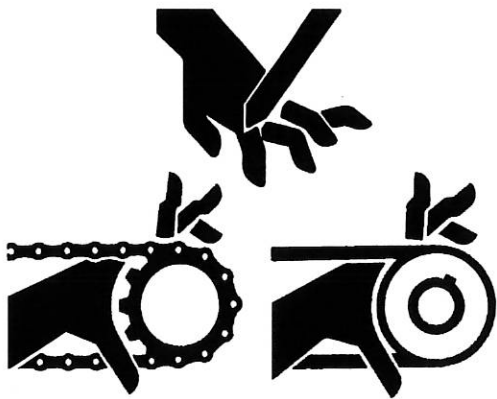
エンジンの始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、十分換気を行ってください。



(6) カバー類を必ず取付ける

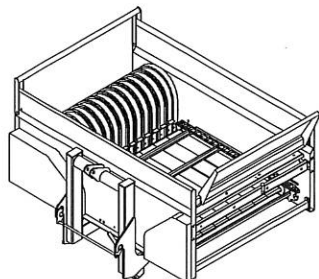
カバー類などの防護装置を取外すときは、必ずエンジンを止めてから行ってください。

また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



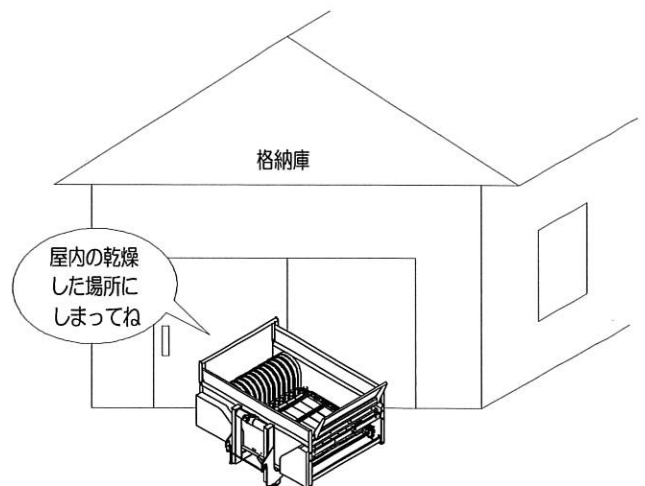
(7) 注油・給油をするときは

エンジンを止め、回転部分が完全に停止してから行ってください。



(8) 長期格納するときは

機械を清掃し、回転部及びチェーンには十分注油して、屋内の平坦な場所に保管してください。



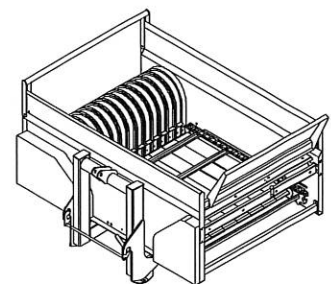
3. 作業・移動をするときは

(1) 人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

また、トラクタの油圧の昇降は付近に人や器物がないことを確認してから行ってください。

近づくとあぶないよ！



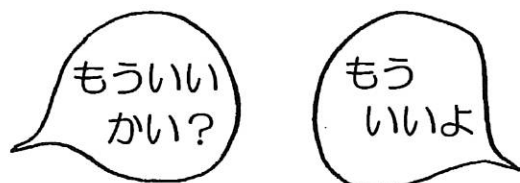
(2) 回転中は危険です

回転部には近寄らない、触らないを守ってください。

！安全に作業するために

(3) 二人以上で作業するときは

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。



(4) 草の巻き付きを取り除くときは

エンジンを必ず止め、回転部が完全に停止してから行ってください。

(5) エンジンを始動するときには

変速レバーを中立にし、周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。

守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(6) 急な発進・停止・旋回・スピードの出しすぎ禁止

スピードの出しすぎ、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますので行わないでください。

また、起伏の多いほ場や傾斜地は危険です。作業スピードは極力落として作業を行ってください。

(7) 回転中のアジテータやコンベアバー・コンベアチェンには触れない

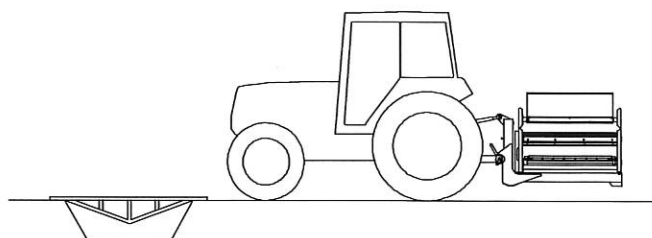
回転しているアジテータやコンベアバー・コンベアチェンに、手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれ重傷を負うことがあります。



(8) 溝や段差を横断したり軟弱な所を通るときは

スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。

ゆっくりと



(9) 作業途中で運転席より離れるときは

平坦な場所に降ろし、エンジンを止め、駐車ブレーキを掛けてください。



！ 安全に作業するために

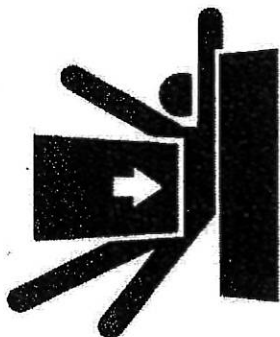
(10) 傾斜地作業は禁止

傾斜地での作業は、危険ですので絶対に行わないでください。必ず平坦地で作業してください。

**傾斜地では
作業しない**

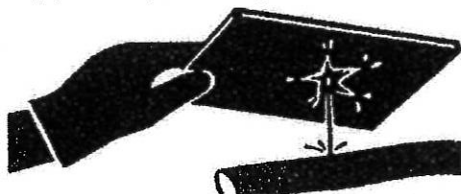
(11) 後進して作業するときは

後方に障害物のないことを十分確認し、本機と障害物の間に人や動物を挟まないようにしてください。



(12) 高圧油に注意してください

- ① 圧力がかかり噴出した油は、皮膚に浸透する程の力があり、傷害の原因になります。
- ② 高圧油による傷害を防止するために配管・ホースなどの取り外し前には必ず残圧を抜いてください。
- ③ 圧力をかける前に配管・ホースなどは正しく確実に締め付けてください。
- ④ 非常に小さな穴からの油漏れは、ほとんど目に見えないことがあります。手で油漏れを探すことは止めてください。必ず、保護メガネをかけ、紙などを使用して調べてください。



- ⑤ 万一、油が皮膚に浸透したときは、強度のアレルギーを起こす恐れがあるので、すぐ医師の診療を受けてください。



安全に作業するために

4. 道路走行・輸送するときは

(1) トラクタに装着しての公道走行禁止

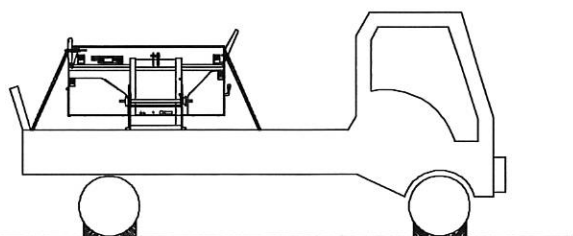
トラクタに本機を装着して公道を走行すると道路運送車両法に違反します。

トラクタに装着しての走行はしないでください。

(2) トラックなどへ積み込み・積降ろしは

平坦な場所でトラックが移動しないようエンジンを止め、サイドブレーキをかけ、車止めをしてください。

積み込んだ機械は車止めをし、強度が十分にあるロープで確実に固定してください。

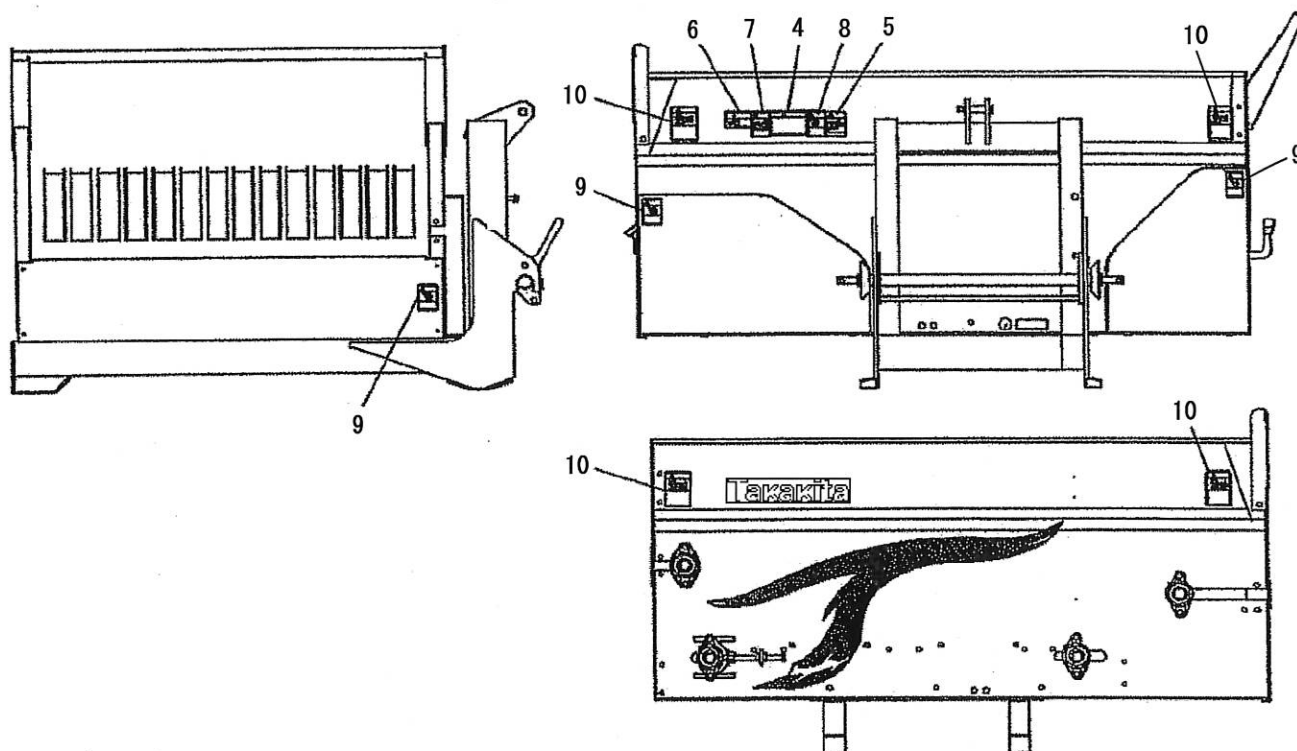


以上、機械の取扱いで注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも本文の中で  印を付けて安全上の注意事項を表記しております。



安全に作業するために

5. 警告ラベルの貼付け位置



④部品コード 001204500042

注意

1. 取扱いを誤ると事故や故障の原因となりますので、必ず取扱説明書をお読みください。
2. 全部のラベルが所定部分に貼付けられているようにしてください。
3. エンジン始動前に機械の周りに人がいないことを確認してください。
4. 作業中は人や動物を近づけないでください。
5. 運転席を離れるときは、必ず
6. エンジン停止し、駐車ブレーキをかけてください。
7. 斜面での駐車時は歯止めをしてください。
8. 点検・調整等はエンジンを止めて実施してください。
9. 手、足及び衣服を運動部分に近づけないようにしてください。
10. 公道走行はできません。トラック等で運送してください。

⑥部品コード 001206000230

危険

転落事故を防ぐためには
発進や登坂時にトラクタ
の前輪が浮き上がらない
よう充分な前部ウエイト
を装備下さい。

⑧部品コード 001306000220

警告

点検時
エンジン
停止

- ・エンジンをかけたまま点検や整備をするとケガをするおそれがあります。
- ・かならずエンジンを停止してキーを抜いてください。

⑤部品コード 001306000190

注意

・高圧、高温液体の噴射注意

⑦部品コード 001306000210

警告

作業員以外の人や動物を
近づけないこと。

⑨部品コード 001306000070

注意

- カバーは常に装着してください。
- はずしたままで運転するとケガをするおそれがあります。

⑩ 部品コード 001306000510



警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店又は当社に注文し新しいラベルを元の位置に貼ってください。(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

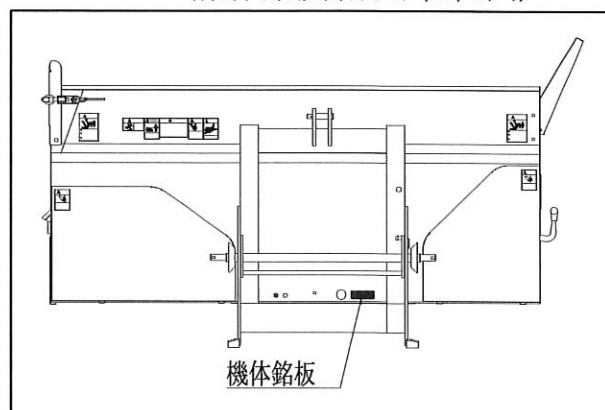
本製品の使用目的について

本製品は、カッティングされたロールベールを解体する作業にご使用ください。
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

(機体銘板貼付け位置図)

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。



【連絡していただきたい内容】

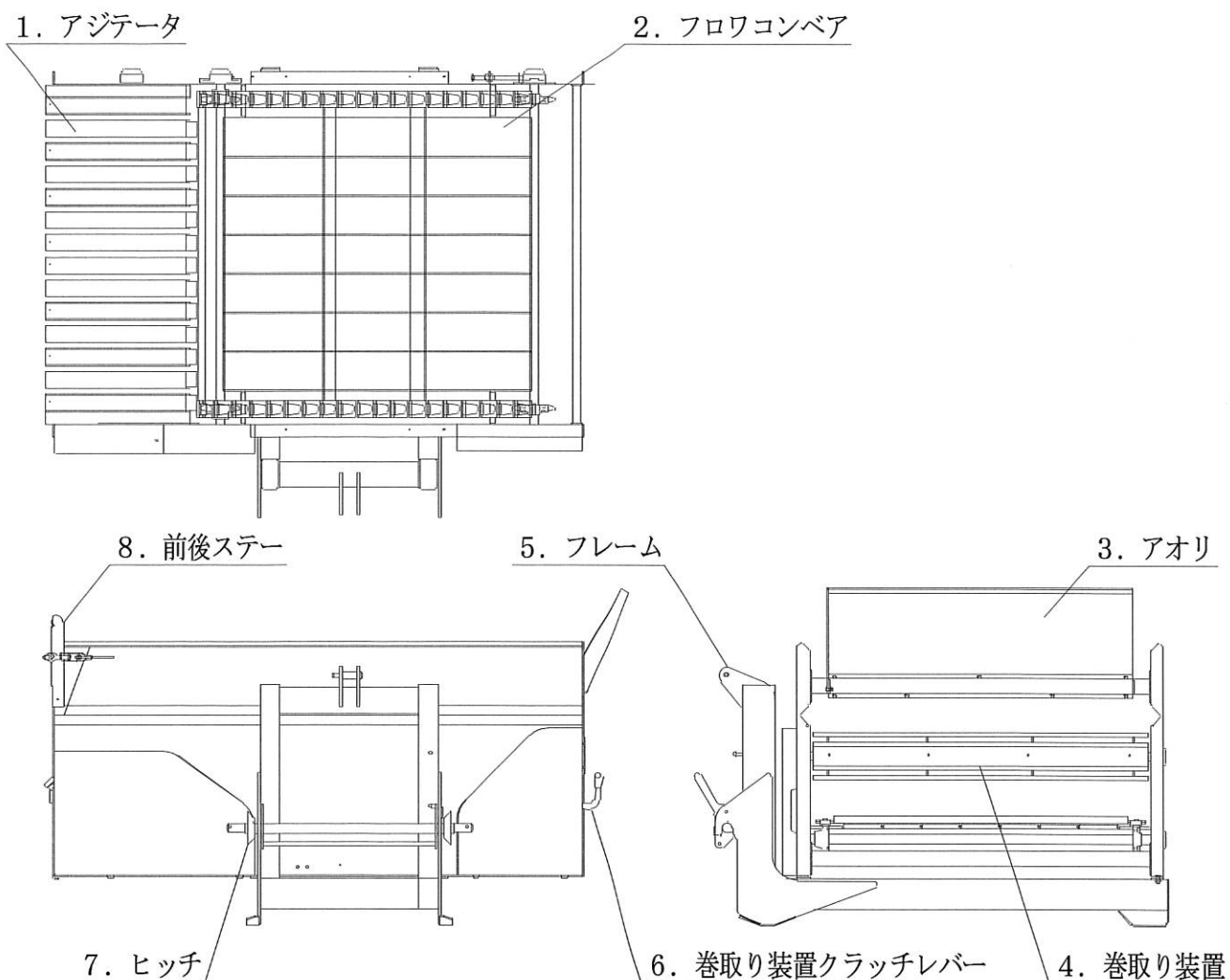
- 品名と型式
- 機体 No. (S E R - N o)
- ご使用状況は？
(どんな条件でどんな作業をしていたときに)
- どれくらい使用されましたか？
(約〇〇アール、または約〇〇時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

※機体No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

品 名	ベールフィーダ
型 式	B F 1 6 0 0
機 体 N o . (SER-No.)	
購入年月日	年 月 日
販売店名	TEL : ()

各部の名称とはたらき

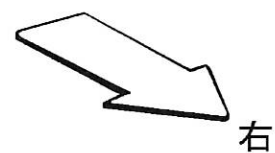
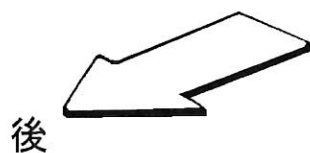
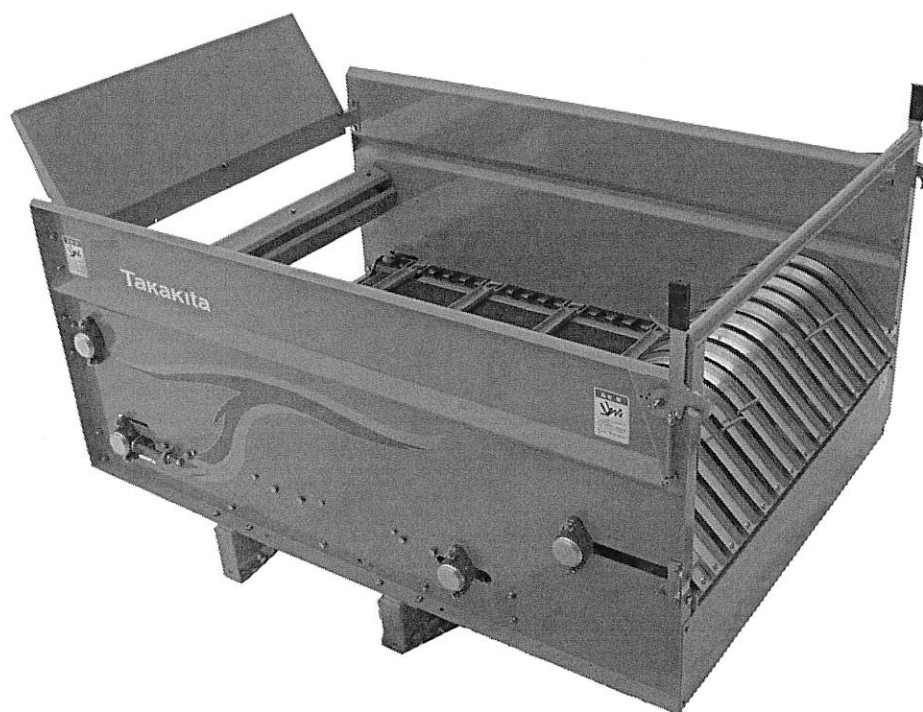
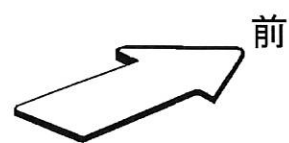
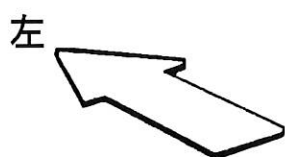
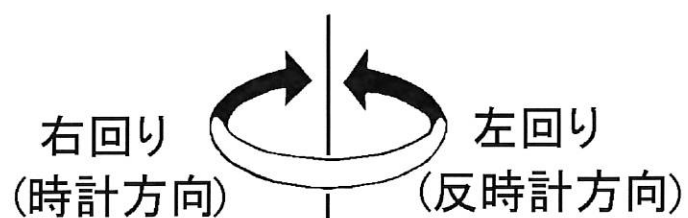


	名称	はたらき	参照ページ
1	アジテータ	ロールベールを崩すツメを装備した回転体	—
2	フロワコンベア	ロールベールをアジテータに送るコンベア	—
3	アオリ	崩れる牧草を受止めフロワコンベアへ落とす装置	—
4	巻取り装置	梱包材料をロールベールから取除く装置	1 4 ・ 1 6
5	フレーム	全体の構成部を保持する	—
6	巻取り装置クラッチレバー	巻取り装置のクラッチを“入”“切”するレバー	1 4 ・ 1 6
7	ヒッチ	トラクタローリンクとフレームとをドッキングする装置	1 2
8	前後ステー	アジテータ上で詰まった牧草を取りやすくする装置	1 4

各部の名称とはたらき

◆機体方向の説明

この取扱説明書で使用している“前後・左右・左回り・右回り”などの方向は、下図の通りに決めています。



トラクタへの装着

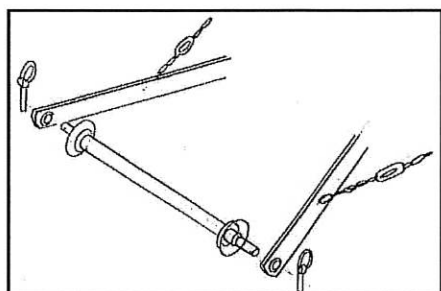
警告

- トラクタへの本機の装着は、平坦で安定した場所で行ってください。
 - 3点リンケージへの装着はリンケージの動きに十分注意し、2人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
- 以上ことを守らないと障害発生の恐れがあります。

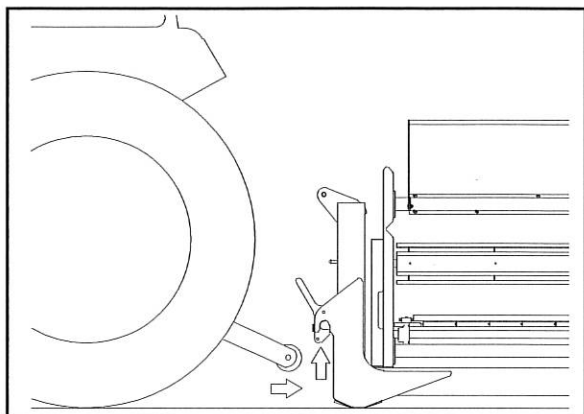
1. 3点リンケージへの装着のしかた

◆3点リンケージの装着順序

- ①トラクタローリンクに本機の2Pヒッチを取り付け、左右に揺れないように、必ずトラクタのチェックチェーンを張ってください。

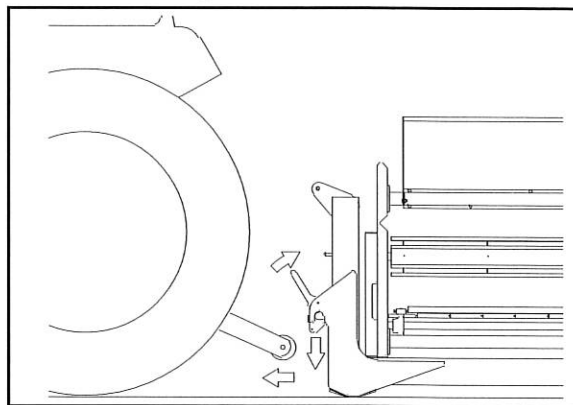


- ②トラクタをバックさせ、2Pヒッチを本機側フックの下まで移動させ、フックにかかるまでローリンクを上げて本機とドッキングしてください。ヒッチは自動的にロックされます。



- ③トップリンクを取り付けてください。

- ④ローリンクの連結を解除する場合は、レバーを操作しながらローリンクを下げてください。



◆水平状態に調整するには

トラクタ側のトップリンク及びリフティングロットを使用して、本機が水平になるように調整してください。

◆チェックチェーンで横振れ調整

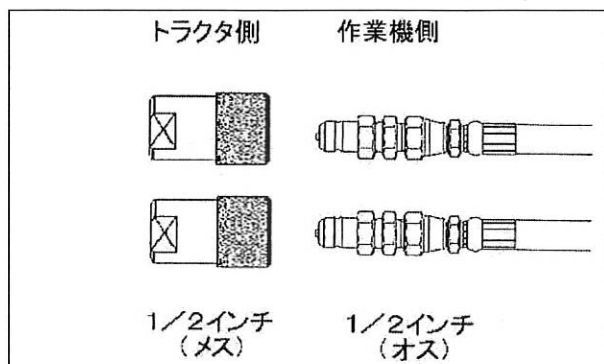
運搬時および作業時、本機の横振れを防止するために、チェックチェーンでトラクタ中心に本機中心が一致するように左右均等に固定してください。

トラクタへの装着

2. 油圧ホースの接続

◆接続

- ①トラクタのエンジンを停止し、トラクタの油圧操作レバーを押し引きして残圧を抜いてください。
- ②油圧ホース先端についている油圧カプラオスを、下図のようにトラクタの油圧カプラに差込んでください。トラクタのカプラのメーカ及び規格が異なると、油圧オイルが流れない場合があります。



注意

- 油圧ホースを取外す場合は、トラクタの油圧レバーを押し引きしてトラクタの残圧を確実に取り除いてください。
- 油圧ホースをトラクタから外したときは、必ず付属のダストキャップをカプラに差込み、傷を付けないようにしてください。またゴミは、きれいに拭き取ってください。
- 異なるメーカのカプラを使用すると、シリンダの作動など作動等不具合を生じるので同じメーカのカプラで統一してください。
- トラクタのオイルが少ない場合も不具合が生じますので、オイル量もチェックしてください。

運転に必要な装置の取扱い

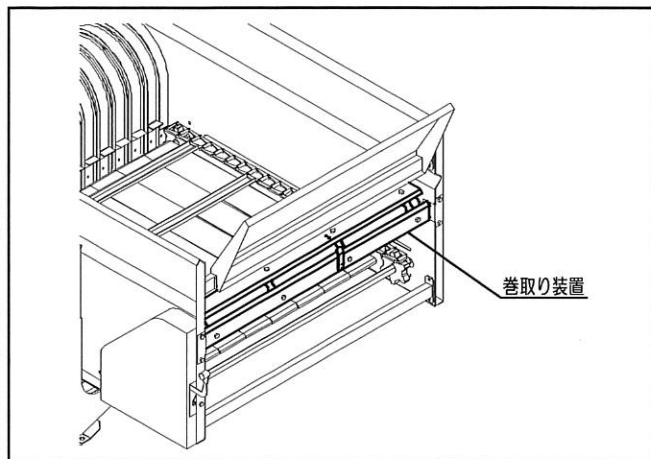
1. フロウコンベア・アジテータ・巻取り装置

フローコンベア、アジテータ、巻取り装置は油圧により同期しています。

よって複動油圧レバー1本で正逆回転を切り替えることができます。

2. 巻取り装置

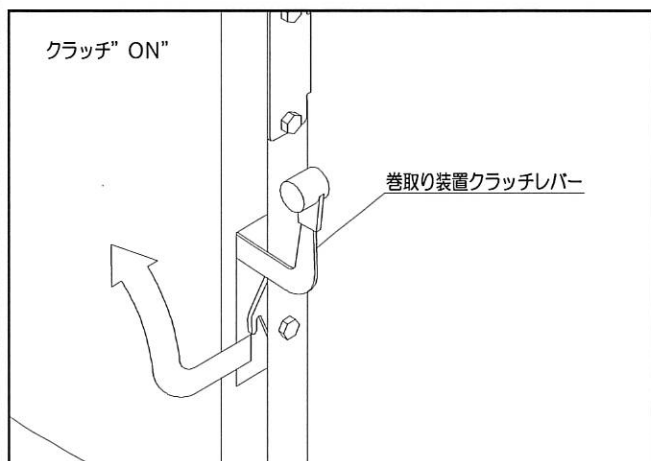
梱包材料をクリップまたはゴムバンドにはさみ、排出作業をしながら巻き取っていく装置です。



3. 巻取り装置クラッチレバー

巻取り装置のクラッチを“ON” “OFF”するレバーです。

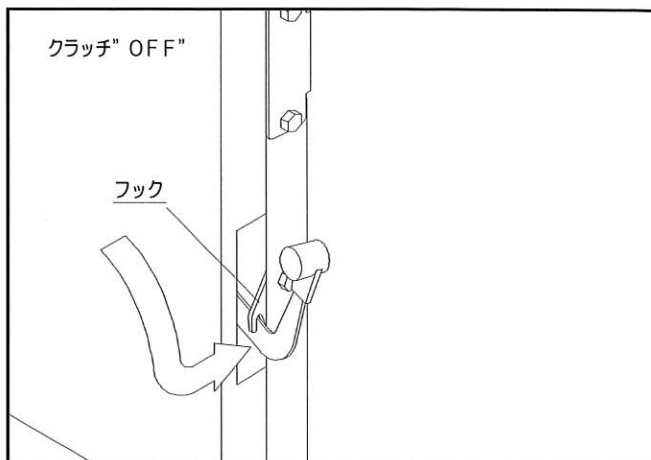
クラッチ “ON”



通常作業状態です。フローコンベア、アジテータと同期して回転します。

クラッチ “OFF”

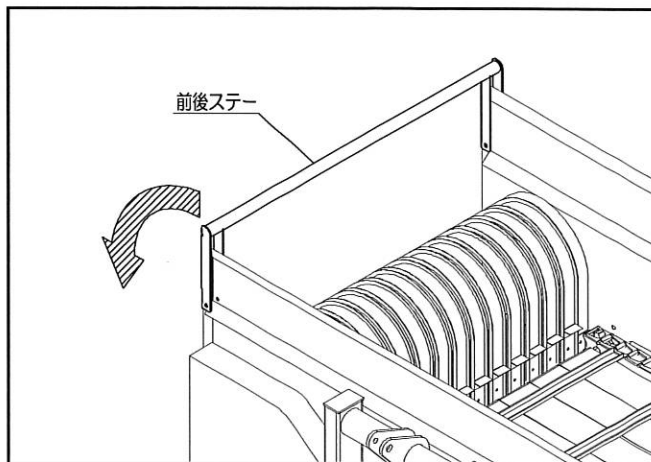
レバーを下側に倒し、フックに引掛けてください。



巻取り装置が自由に回転します。排出作業終了後、梱包材料を取り除くときに使用します。

4. 前後ステー

アジテータ部で飼料がつまったときにフックをはずし、つまりを取り除く装置です。

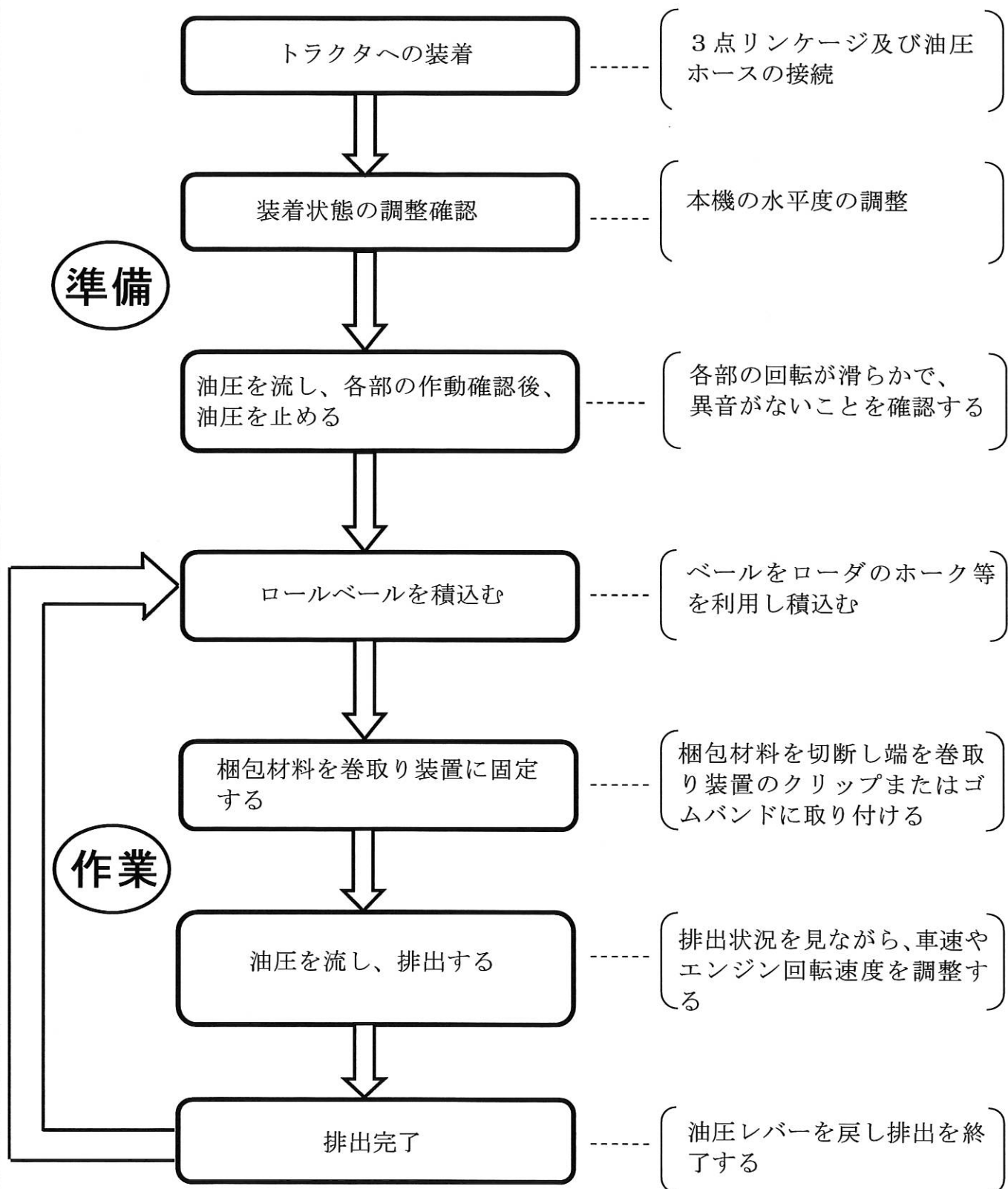


⚠ 警告

つまりを取り除くときは必ずエンジンを止め、回転部が完全に停止してから行ってください。

作業方法

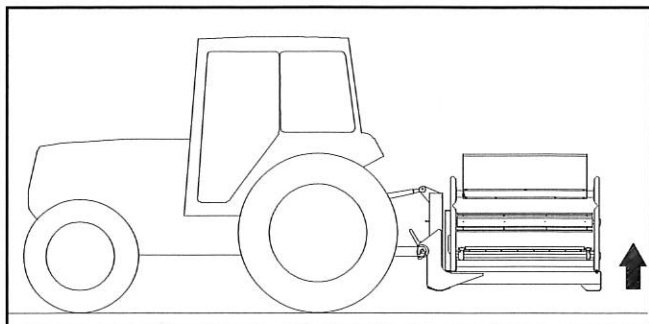
1. 作業手順と要点



作業方法

2. 移動するときは

移動するときは、必ず本機を十分な高さまで3点リンケージで吊り上げてから走行してください。

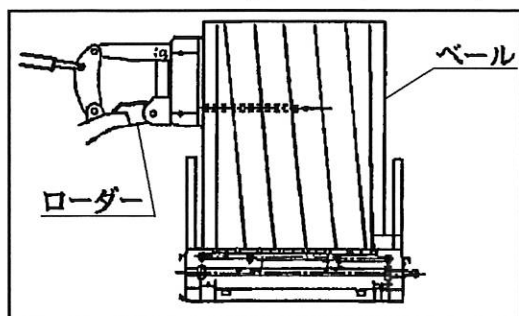


警告

- ①本機を装着しての運転は、道路および、まわりの条件に適した速度で行ってください。絶対に急発進・急ブレーキ・急ハンドルは行わないでください。
- ②カーブを曲がるときは、重心の変化や機械の幅に十分注意してください。

3. ロールベールの積込み

- ①いったん、トラクタのエンジンを切り、3点リンケージの位置を最下位まで下げ、ロールベールが入れやすい状態にしてください。
- ②フロントローダのホークなどを利用してロールベールを積込んでください。
- ③ロールベールを完全に本機内の床に下ろしてからホークを抜いてください。

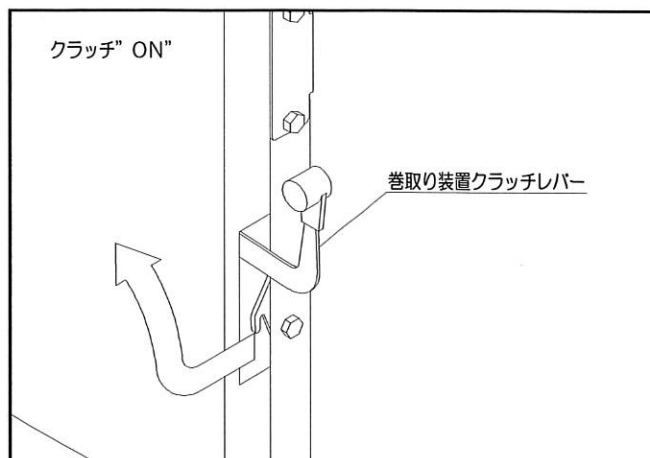


注意

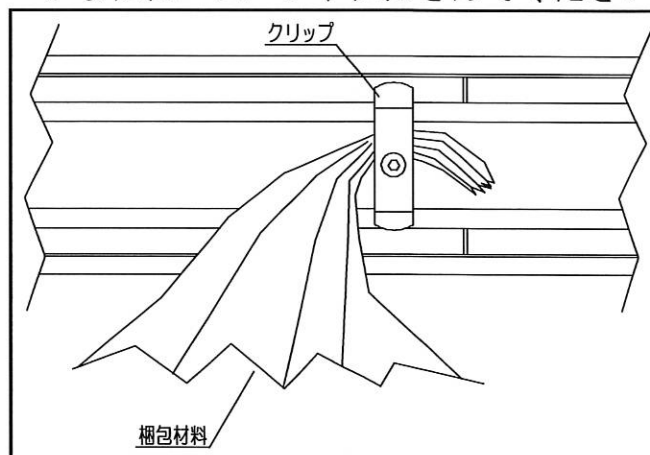
ロールベールが床から浮いた状態、あるいは高い位置でホークを抜かないでください。本機が破損したり変形したりします。

4. 梱包材料のはがす準備

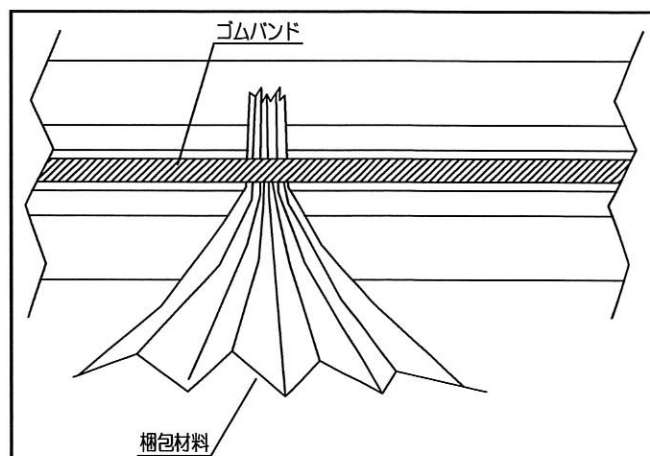
- ①巻取り装置クラッチレバーを“ON”の位置にしてください。



- ②積載したロールベールの下側で梱包材料を切断してください。
- ③切断した上側の端を巻付け装置のクリップまたはゴムバンドにはさんでください。



クリップの場合



ゴムバンドの場合

- ④作業を開始すると巻取り装置が梱包材料を巻き取ります。

作業方法

5. 排出

排出量はトラクタのエンジン回転速度（オイル吐出量）により変化します。エンジン回転速度が上がるとオイル吐出量が増加して回転速度が速くなり、結果的に排出量が増えます。

◆排出量の調整

- ①排出量を多くするときは、
エンジン回転速度を上げる
走行速度を「遅く」する。
- ②排出量を少なくするときは、
エンジン回転速度を下げる
走行速度を「速く」する。

1回の走行で、排出量が少ないときは2回走行してください。

排出不要な場所では、油圧レバーを“中立”にし、排出を止めてください。

6. 排出作業の方法

◆作業手順について

- ①走行クラッチを入れ、ゆっくり走行します。
- ②トラクタの油圧レバーを操作し、設定速度で作業してください。

注意

本機の必要油量は20～40ℓ/分です。

⚠ 危険

走行開始時は、トラクタの重量バランスを崩しやすい危険な状態にあります。急発進は絶対にやめてください。

注意

より均一な排出を行うためには、排出作業中のトラクタの走行速度を一定に保つようにしてください。また、排出量を確認しながら走行してください。

⚠ 危険

排出作業に入る前には、機体の前後左右に人や動物のいないことを確認してください。

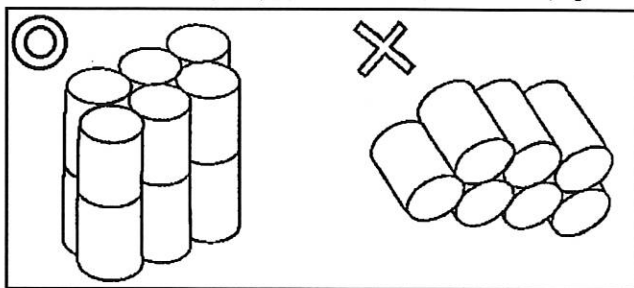
7. ロールベールについて

ロールベールのサイズは下記のものに限ります。下記以外のサイズのものは使用しないでください。

- ①直径 : 90cm～160cm
- ②巾 : 110cm～125cm

8. ロールベールの保管方法

- ロールベールを積み上げて保管する場合、縦積みによると、ロールベールの変形量が小さく、解体しやすい状態で保管できます。
- 横積みによると、下のロールベールが大きく変形し、解体しにくくなります。



9. 傾斜地での走行や作業

◆ロールベールを積載して傾斜地での走行や作業禁止

ロールベールを積載して傾斜地では、走行、作業は横転の危険がありますので、決して行わないでください。

◆必ず直角走行・急ハンドル禁止（空車時）
等高線に対して直角方向に走行し、旋回は速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。

⚠ 危険

斜面の等高線に平行、または斜め走行や、急旋回は横転の危険がありますので決して行わないでください。

作業の安全確保と、故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。
作業前の点検は、欠かさず行ってください。



- 取外したカバー類は必ず取付けてください。衣服が巻き込まれたりして危険です。
●点検整備をするときは油圧を切り、エンジンを停止させて回転が止まってから行ってください。

No.	項 目	内 容	参照ページ	チェック
1	前回使用の異常箇所	修理、補修が完全に行われているか	—	
2	損傷、汚れ、ボルトのゆるみ	機体の損傷、ゆるみ、ガタつきがないか	—	
3	オイル	オイルの量、汚れ、油もれ	—	
4	フロワコンベアチェンの張り	適正な張力となっているか	1 9	
5	ローラチェンの張り	適正な張力となっているか	1 9	
6	Vベルトの張り	適正な張力となっているか	2 0	
7	油圧ホース	損傷、油もれ	—	
8	回転部の草の巻付き	巻付いた草を除去する	2 0	
9	各部の回転	各部の回転は正常か	—	
1 0	各部への注油・グリスアップ	各部への給油は十分か	2 1	

以上について異常が認められない場合は、エンジン回転速度を低速にし負荷をかけず、3～5分間ならし運転を行ってから作業を始めてください。

[illegible]

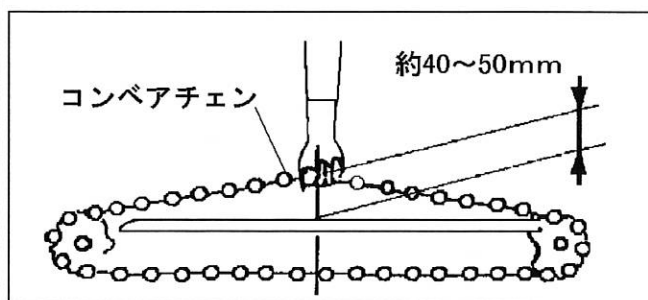
簡単な手入れと処置

警告

- 各部の調整をするときは、エンジンを停止させて回転部が完全に止まってから行ってください。
- 取外したカバー類は必ず取付けてください。

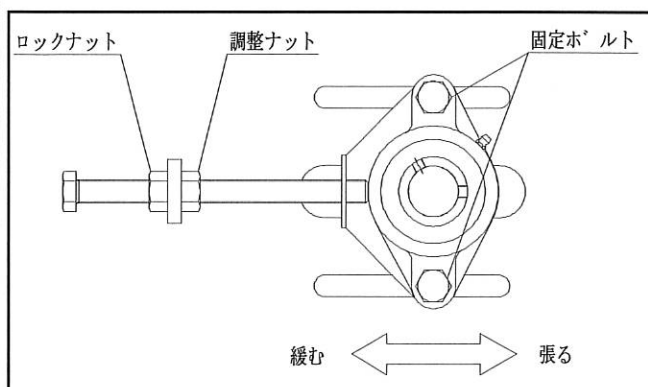
1. フロアコンベアチェーンの張り調整

コンベアバーの中央部を手で持ち上げて、床面との距離を“40 ～ 50 mm”になるように調整します。



●調整のしかた

- ①ベアリングの固定ボルトを緩める。
- ②ロックナットを緩める。
- ③調整ナットで張りを調整する。
- ④ロックナット、ベアリングの固定ボルトを締める。



※左右均等に調整してください。

2. ローラチェーンの張り調整

注意

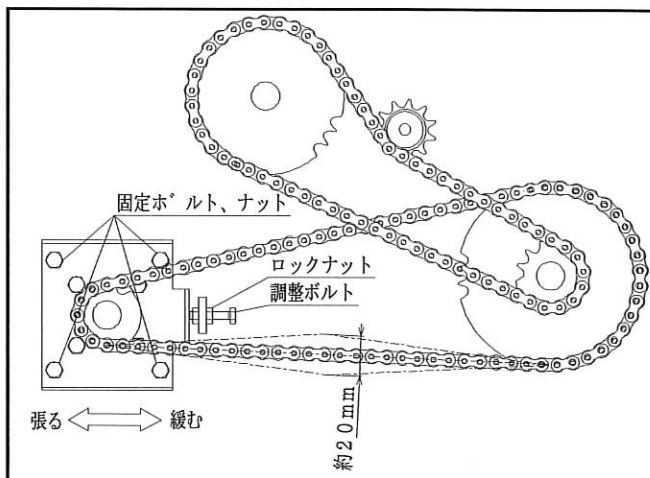
ローラチェーンは特に初期伸びをします。初めての使用から 10 時間後は下記に従って、張り調整を行ってください。

◆フロアコンベア駆動チェーン

たわみ量が約 20mm になるよう調整してください。

●調整のしかた

- ①モータベースの固定ボルト、ナットを緩める。
- ②ロックナットを緩める。
- ③調整ナットで張りを調整する。
- ④ロックナット、モータベースの固定ボルトを締める。

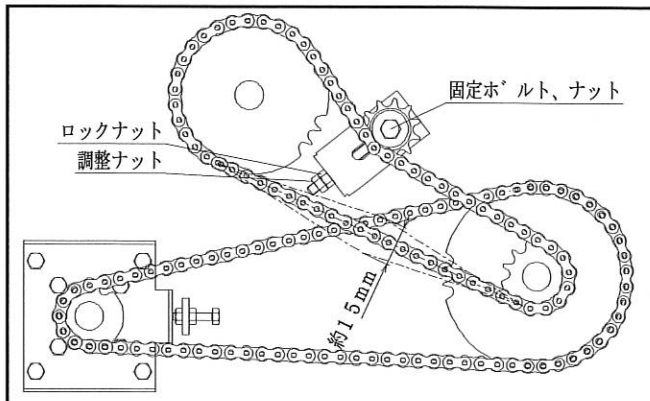


◆アジテータ駆動チェーン

たわみ量が約 15mm になるよう調整してください。

●調整のしかた

- ①スプロケットの固定ボルトを緩める。
- ②ロックナットを緩める。
- ③調整ナットで張りを調整する。
- ④ロックナット、スプロケットの固定ボルトを締める。



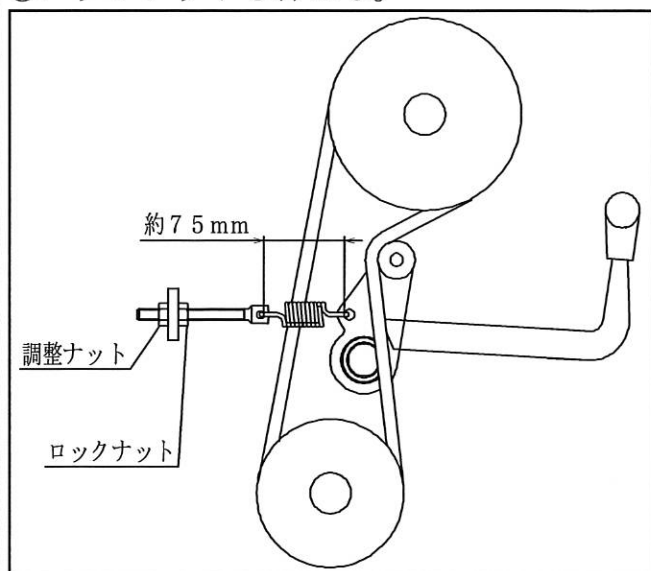
簡単な手入れと処置

3. Vベルトの張り調整

バネ寸法が約75mmになるよう調整してください。

●調整のしかた

- ①ロックナットを緩める。
- ②調整ナットで張りを調整する。
- ③ロックナットを締める。



4. 日常の管理について

- 回転部に巻き付いた草や梱包材料は、その都度取り除いてください。故障の原因となります。
- 作業終了後は、常に掃除をするように心掛けてください。

⚠ 警告

巻き付いた草や梱包材料を取り除くときや掃除をするときは、エンジンを完全に停止させてから行ってください。

5. 長期格納時の手入れ

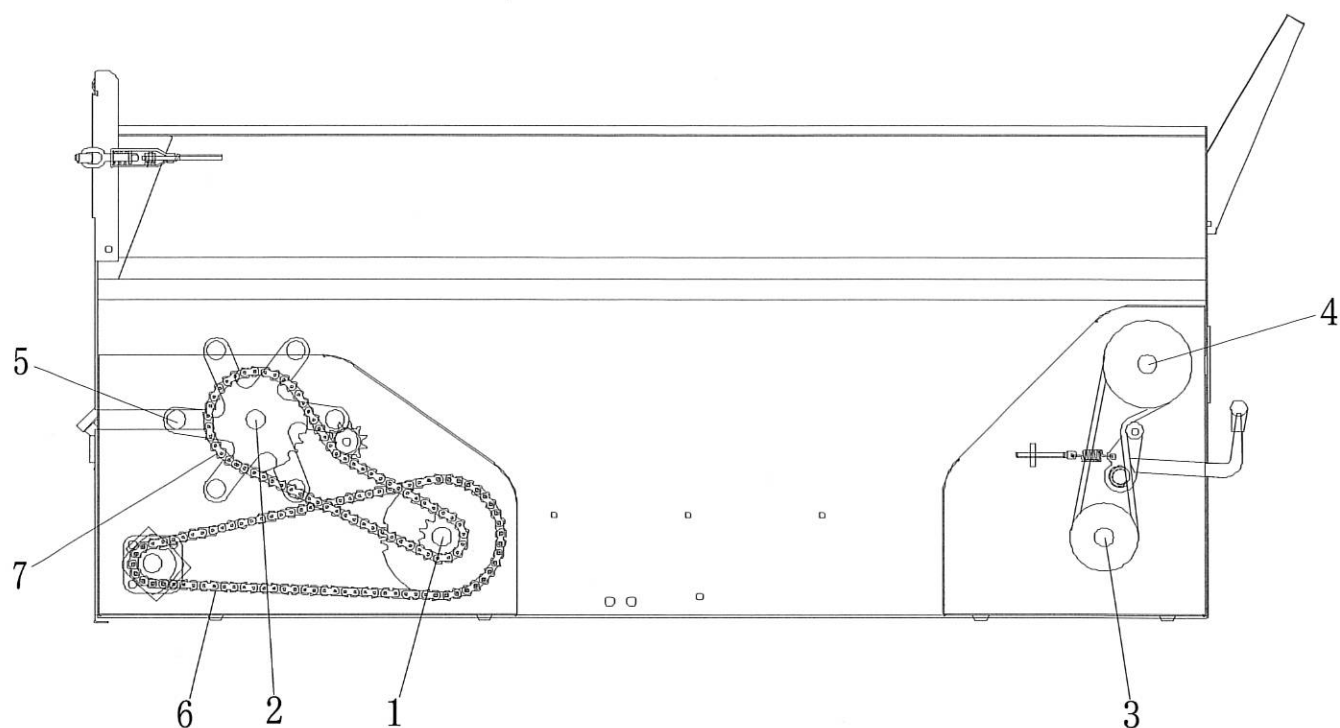
作業が終了したら、次期の使用時に備え、末長くご利用いただくためにも、十分な手入れを行ってください。

- 水洗いをして付着した飼料、泥やほこりなどを念入りに取り除いてください。
- 乾燥後は各回転部、チェン、スプロケットに十分注油またはグリス塗布をし、錆びないようにしてください。
- 塗装のはがれた部分には、補修塗料を塗り錆びが出ないようにしてください。
- 各部のボルト、ナットがゆるんでいないかを確認し、ゆるんでいる所は締めてください。
- 各部の点検を行い、不調部は部品交換や修理を済ませておいてください。
- 格納する場所は、雨やほこりのかからない屋内に保管してください。
- 格納は平坦な場所で保管してください。

簡単な手入れと処置

6. 各部への注油

下図の所へ注油、グリスアップしてください。



No.	グリスアップ、注油箇所		
1	グリス	フロアコンベア駆動軸ベアリング	2箇所
2		アジテータ駆動軸ベアリング	2箇所
3		フロアコンベアテンション軸ベアリング	2箇所
4		巻取り装置駆動軸ベアリング	2箇所
5		アジテータタイン支持部	1 2箇所
6	注油	フロアコンベア駆動チェン	
7		アジテータ駆動チェン	

不調診断

不 調 内 容	診 断	処 置	参照ページ
●フロアコンベア、アジテータが回転しない	●トラクタの作動オイル不足	●トラクタのオイルを補給する	—
●巻取り装置が回転しない	●巻取り装置クラッチレバーが“OFF”になっている ●Vベルトが滑っている	●クラッチを“ON”する ●ベルトのテンションを張る ●ベルトを交換する	14・16 20
●排出量が多い	●走行速度が遅い ●トラクタのエンジン回転速度が高い	●走行速度を速くする ●回転速度を低くする	17
●排出量が少ない	●走行速度が速い ●トラクタのエンジン回転速度が低い	●走行速度を遅くする ●回転速度を高くする	17

付表

1. 主要諸元

品名	ベールフィーダ	
型式	BF1600	
装着方法	3点リンク装着式／カテゴリⅡ	
駆動方法	トラクタ油圧（複動1系統）	
適応トラクタ（kW {PS}）	58.8～110.3 {80～150}	
機体寸法	全長（mm）	1860
	全幅（mm）	2310
	全高（mm）	1330
質量（kg）	610	
適応ベール寸法（cm）	直径90～160 幅110～125	
能率（分／個）	2～5	

※上記仕様は改良などにより、予告なく変更することがあります。

2. 主な消耗品

部品名称	部品コード	備考
コンベアバー	66114-2110-000	
コンベアチェン	66114-2191-000	デタッチャブルチェン#78
タイン	66114-3393-001	
Vベルト	03610-0020-450	Vベルト B-45